

令和4（2022）年度 第3回四万十町立図書館協議会 会議録（要旨）

日 時：令和4年12月5日（月） 9時～12時

場 所：四万十町役場東庁舎2階町民活動支援室

出席委員：竹村君子、刈谷明子、武内文治、小橋匠

欠席委員：金子仁

事務局：浜田教育次長、味元課長（生涯学習課）、大河原館長、田辺副館長、富永主査（生涯学習課）、谷脇（図書館）、須藤（図書館）、山地（図書館）、長木（図書館）

文化的施設整備推進室：大元政策監、松下

■会議録（要旨）

議題1 3 報告（1）令和4（2022）年度 事業の進捗について

資料：令和4年度第3回図書館協議会【資料1】

【質疑応答】

（刈谷委員）

6月までに巡回コースが決まるということか。

（大河原館長）

最終的に年度内の決定となる。

（武内委員）

情報システムなど図書館の中身に力を入れていると思うが、住民の情報など持っているか？ホームページ、レファレンス検索など町の中に潜り込ませるのか？

（大河原館長）

デジタルアーカイブとしての構想がある。立ち上げ時にどこまでできるか、個人のものについては検索できる想定ではない。データベースに載せられない。

レファレンスの発信については国立国会図書館のデータベースに登録した。

（事務局）

10月にレファレンスデータベースの参加館となった。未解決なものも全国から見られる。一般公開はまだしていないが登録した。

（大河原館長）

国立国会図書館が行っており、全国から参加館としてできる。誰でも見ることができるが登録・公開・非公開が選べる。

(竹村委員)

短い時間作家が窪川に逗留して書いていることもでているか。国会の雑誌に書かれている。

(大河原館長)

レファレンスの事例があれば載せることができる。先ほどの件は国会雑誌の検索となる。ホームページについては企画課と調整中。

(刈谷委員)

レファレンス協同データベースは図書館に問い合わせられたことを、登録した図書館が事例を公表するもの。公開はいつから？

(事務局)

1件登録している。幅広い事例となるので四万十町ならではのものを登録したい。

(刈谷委員)

広く周知をされたら良い。

(小橋委員)

貸出状態がわからないがカーリルで調べている。オーテピアで予約できたり、新書が入ったときは届けられるのか。

(大河原館長)

カーリルの仕組みは検索のみ。予約はそれぞれの図書館に申し込む。四万十町は現在ネット予約できない。ネットから予約を受けようと思っているので利便性は上がる。ほかの図書館のものの予約はできない。

(刈谷委員)

ネット予約できるようになったら、直接図書館に行かず、サテライトで受け取ることは可能か。

(大河原館長)

大正分館、十和地域振興局で受け取ることは可能。サテライトは、そこへ届ける便が必要となる。移動図書館車が来年から動く。どこで受け取るか検討が必要。

★ここで4～9月利用状況の説明している

(刈谷委員)

利用状況はサテライト貸出で大正分館が増えている。蔵書数が少ないのでサテライトが増えたら図書館に本がなくなるのではないか。購入費がもっとつくと良い。

(大河原館長)

資料費を増やしていく。現在の蔵書を新しい施設にもっていっても3分の2程度。サテライトに持っていくものもあり、本を回転させる運用を想定している。
移動図書館車の資料費は100万円。予算としてあげていく。

(刈谷委員)

サテライトのある場所により、大正地区なら大正分館、移動図書館車は本館の本か。

(大河原館長)

現時点ではそう想定している。

議題1 3 報告(2) 文化的施設について

資料：令和4年度文化的施設「町民説明・意見交換会」資料【資料2】

R4 文化的施設「町民説明・意見交換会」発言要旨 大正会場【資料3】

(竹村委員)

意見交換会で出された意見から改善したことはあるか。

(大元政策監)

主な意見は賛成か反対というもの。反対の方はランニングコストの心配をされている。これまでの経緯を説明している。12月に継続費を出すことにした。移動図書館車は、来館できないところ、図書館がいきわたるような仕組みを反映していきたい。

(小橋委員)

資料②のp9を見て、健全なことであると思ったが、ほかに箱物施設を作ると変わってくると思う。比率は大丈夫か。

(大元政策監)

今後予定はない。学校の建て替えなどは出てくるが適正配置計画と合わせて行いたい。財政シミュレーション10年試算したが問題ない。

(竹村委員)

ふるさと納税で裕福なのでは？そのあたりが見えないので、なぜ裕福なのかなと思う。

(大元政策監)

ふるさと納税に助けられている。半分を貯金に回していたので制度がなくなっても耐えうる。

(竹村委員)

人口減少の課題がある四万十町。人口増に使ってほしい。文化施設はその一環と捉えたい。

(大元政策監)

人口はどここの市町村も減っている。5年後こうなると予測した5年前のグラフと比べて、現在のグラフを見ると良くなっている。人口が減らないよう起爆としていきたい。

(大河原館長)

まわりの市町村も整備されている。遅れることなく整備したい。自分たちのこと、自分の地域のことを自分で決められる魅力度アップの施設にしたい。

(刈谷委員)

意見交換会、十和地区に出席した。図書館協議会でここまでやってきた。予算も健全である。住民が減るなかで地域がどう残っていくか。施設が教育機関で、子どもたちだけでなく大人も含む町民のための施設。これ以上延びると、お金が余計にかかり無駄になる。計画通り進めてほしい。

(武内委員)

内閣府から拉致被害の本をしっかりと揃えてほしい話があり、全国図書館協会でそれは違うのではないかと話したという話がある。

目的が曖昧なところが多くあり、だれのための図書館か。町は図書館を設置できるという条例だけである。10条の意味合いで設置するのではなく、何の目的で設置するのか。また図書館協議会委員も何をするのか目的が書いていない。文化施設だけでなく、来年度、図書館協議会をどうやって行くか議論したい。文字として理解して取り組めるルールを設けてほしい。

(大元政策監)

目的が明確にされていないのはその通りである。条例はしっかり定めていきたい。

(竹村委員)

拉致被害の文書は来ているか。

(大河原館長)

教育委員会には来ている。手元にはない。

(竹村委員)

図書館協議会委員の立ち位置がハッキリしない。こうしたら、と意見は言うが諮問を求められていないので、各々が意見を述べる。やるからにはよい図書館、美術館を作ろうという意見は一致している。

(大元政策監)

9月から教育委員会から引き継いだが、諮問まではしないと確認を行った。

(竹村委員)

図書館職員が、イベントや子どもから大人まで細かく一生懸命業務をおこなっていることは日々感じている。

議題4 その他

- ・ビブリオバトル 1/28 開催についての紹介。
- ・次回、図書館協議会 1～2 月予定。

(武内委員)

運営する職員の問題について。館長がパートタイムだが、文化的施設では会計任用職員が正職員になるのか。今の人がなるという保証はないので、今の職員は不安なのではないか。不安がないよう説明してもらいたい。

(大元政策監)

ランニングコストに人件費が入っている。正職員にしていこうと思っている。
今の人がなる保証はない。

(刈谷委員)

ランニングコストで人件費をきちんとかけられるかが大事。

議題5 読書郵便の審査

－閉会－